

古河レピーターを使って近在のアマチュア局と交信する

項目	設定手順	備考	設定例	
やまかけ運用の設定 ローカル局との交信 または CQ 呼出し	MAIN を押して B チャンネルにする MENU 押し続けて MENU 画面を出す コールサイン (CALL SIGN) に → を合わせて 5 を押す メニューが出る ① UR に → を合わせる 相手局のコールサインか CQCQCQ を選択 設定したら 5 を押して前のメニュー画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択	例 1: 古河レピーター JP1YIK から 古河レピーターを 聴いている JI1WLB に JA1HHF が 呼び出しする UR : JI1WLB R1 : JP1YIK A R2 : NOT USE* MY : JA1HHF	
	② R1 に → を合わせて 5 を押す 古河レピーター局のコールサイン JP1YIK を選択 設定したら 5 を押して前のメニュー画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 コールの後に A が付く		
	③ R2 に → を合わせて 5 を押す コールサインリストから NOT USE を選択 設定したら 5 を押して前のメニュー画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択		例 2: 古河レピーター JP1YIK から 古河レピーターを 聴いている局に JA1HHF が CQ 呼び出しする
	④ MY に → を合わせて 5 を押す 自局のコールサインを選択 例: JA1HHF / HOME とか JA1HHF / CAR など	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 マイコールメモリーに登録しておいた コールを呼び出す		UR : CQCQCQ R1 : JP1YIK A R2 : NOT USE* MY : JA1HHF
	これで設定は終わり MENU を押すと周波数表示になる PTT スイッチ操作で交信ができる			注: 送受信に同じレピーター局を 使う場合は R2 の設定は 省略できる NOT USE* でよい

古河レピーターから異なるレピーター局を使って遠隔地のアマチュア局と交信する

項目	設定手順	備考	設定例
古河から遠隔地向け CQ コールをする方法	MAIN を押してB チャンネルにする MENU チョン押しして MENU 画面を出す コールサイン(CALL SIGN) に→を合わせて 5 を押す ① メニューが出るから UR に→を合わせる CQ を出したいエリアのレピーター局のコールサインを選択 選択したコールサインの前に / が自動的に付く 設定したら 5 を押して前の画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 R01--R60 の中から選択 例: /JP1YIR	例 古河レピーター JP1YIK から 流山レピーターJP1YJRを 聴いている局に UR : /JP1YJR R1 : JP1YIK A R2 : JP1YIK G MY : JA1HHF コールサインメモリーに G を付けた コールを登録しておく
	② R1 に → を合わせて 5 を押す 古河レピーター局のコールサイン JP1YIK を選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 JP1YIK の後に A が付く	
	③ R2 に → を合わせて 5 を押す 古河レピーター局のコール JP1YIK G 選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択	
	④ MY に → を合わせて 5 を押す 自局のコールサインを選択 例:JA1HHF / HOME とか JA1HHF / CAR など MENU を押すと周波数表示になる PTT スイッチ操作で交信ができる	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 マイコールメモリーに登録しておいた コールを呼び出す	
遠隔地から古河へCQ	レピーター局のコールサインは上の逆の設定にする 例 UR:/JP1YIK R1:JPIYIR A R2:JPIYIR G MY:JA1HHF/CAR		

古河レピーターから異なるレピーター局を使って遠隔地のアマチュア局と交信する

項 目	設 定 手 順	備 考	設 定 例
特定の局を呼び出したいとき	MAIN を押してB チャンネルにする MENU チョン押しして MENU 画面を出す CALL SIGN に→を合わせて 5 を押す CALL SIGN メニューが出る UR に→を合わせる ① 呼出したい局が聴いているエリアの レピーター局のコールサインを選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 例: UR : JR1UTI	古河レピーター JP1YIK から 流山レピーターJP1YJRを 聴いている JR1UTI を 呼び出す UR : JR1UTI R1 : JP1YIK A R2 : JP1YIK G MY : JA1HHF / HOME
	② R1 に → を合わせて 5 を押す 古河レピーター局のコールサイン JP1YIK を選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 R01--R60 の中から選択	コールサインメモリーに G を付けた コールを登録しておく
	③ R2 に → を合わせて 5 を押す 古河レピーター局のコール JP1YIK G 選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 R01--R60 の中から選択	
	④ MY に → を合わせて 5 を押す 自局のコールサインを選択 例: JA1HHF / HOME とか JA1HHF / CAR など	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 マイコールメモリーに登録しておいた 自分のコールを呼び出す	
	これで設定は終わり MENU を押すと周波数表示になる PTT スイッチ操作で交信ができる		

遠隔地を移動中のアマチュア局と交信する

項 目	設 定 手 順	備 考	設 定 例
移動局の CQ に応答	ゲートウェイを使ってCQコールする局を聴いたら 右下の CALL/RX-CS スイッチを長押しすると UR, R1, R2, MY が自動設定される	このあと MENU チョン押し コールサイン(CALL SIGN)に→を合わせ スイッチ 5 で設定内容が確認できる	
移動局を呼出す	MAIN を押してB チャンネルにする MENU チョン押しして MENU 画面を出す コールサイン(CALL SIGN) に→を合わせ 5 を押す 表示されたメニューから ① UR に→を合わせ メモリーの中から 呼出したい局のコールサインを選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す ② R1 に → を合わせて 5 を押す 古河 リピーター局のコールサイン JP1YIK を選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す ③ R2 に → を合わせて 5 を押す 古河 リピーター局のコールサイン JP1YIK G を選択 設定したら 5 を押して前の画面を出す ④ MY に → を合わせて 5 を押す 自局のコールサインを選択 例: JA1HHF / HOME とか JA1HHF / CAR など	スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 R01--R60 の中から選択 例: UR : JR1UTI スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 スイッチ 2 か 8 またはダイヤルで選択 マイコールメモリーに登録しておいた コールを呼び出す	例 古河リピーター JP1YIK から 移動中のJP1YJRを 呼び出す UR : JR1UTI R1 : JP1YIK A R2 : JP1YIK G MY : JA1HHF / CAR
	これで設定は終わり MENU を押すと周波数表示になる PTT スイッチ操作で交信ができる		

ID-92 起動時 液晶表示器から I COM のロゴを出さないようにする

項目	設定手順	備考
DISPLAY	<p>MENU 押し続けて MENU 画面を出す → をディスプレイ (DISPLAY) に合わせて 5 を押す 表示されたメニューから → をオープンロゴ (OPN LOGO) に合わせて 5 を押す オープンロゴ (OPEN LOGO) を →OFFとする</p> <p>MENU スイッチを押せば周波数表示に戻る 次の起動時から I COM のロゴは出ない</p>	<p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作</p> <p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作</p>

ID-92 の液晶表示器に起動時 自局のコールサインを表示する

項目	設定手順	備考
DISPLAY	<p>MENU 押し続けて MENU 画面を出す → をディスプレイ (DISPLAY) に合わせて 5 を押す 表示されたメニューから → をオープニングコール (OPN CALL S) にして 5 を押す 次に →ON として 5 を押す</p> <p>MENU スイッチを押せば周波数表示に戻る 次から起動時に自局のコールが表示される</p>	<p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作</p> <p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作</p> <p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作</p>

ID-92 の液晶表示器の表示を日本語(英語)から英語(日本語)にする

項目	設定手順	備考
DISPLAY	<p>MENU 押し続けて MENU 画面を出す → をディスプレイ (DISPLAY) に合わせて 5 を押す 表示されたメニューメニューから → をゲンゴ (LANGUAGE) に合わせて 5 を押す →エイゴ (ENGLISH) で 5 を押す</p> <p>MENU スイッチを押せば周波数表示に戻る 次から MENU を押すと英語(日本語)表示になる</p>	<p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作</p> <p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作</p> <p>スイッチ 2 と 8 かダイヤルを操作 (英語から日本語は →JAPANESE)</p>

ID-92 の Aバンド, Bバンド の切替え とダイヤル表示

[MAIN] スイッチ操作

項目	設定手順	備考
AバンドかBバンド	丸く大きいスイッチ[MAIN]をチョン押しするたびに Aバンド⇄Bバンドに変わる	
AとBの2バンド表示	[MAIN]を長押しするたびに 2バンド表示→1バンド表示に変わる	長押しは約1秒くらい押す
2バンド表示のメイン選定 (MAINの入替え)	2バンド表示でどちらをメイン(送信できる)にするには [MAIN]をチョン押しするたびにA⇄Bが切り替わる	メインバンドになった周波数の左上に MAINが白抜きで表示される

ID-92 の運用周波数帯と周波数の設定

項目	設定手順	備考
運用周波数帯の設定	[VFO]を押してVFOモードにしてから [BAND]を押すごとに周波数帯が変わる	MR(メモリー)マークが出てはダメ
運用周波数の設定	周波数帯を決めてからID-92の右上のダイヤルを 回して周波数が設定できる	数字キーを回しても設定できる 例:[4][3][8][0][4][0]と回せば 周波数は438.040 MHzになる 438と040の間の点は省略

ID-92 の送信出力を設定する

項目	設定手順	備考
送信出力の設定	3[LOW]スイッチを長押しするごとに液晶表示器の 左下に順次表示が出る(リチウムバッテリーの場合) SLO (約0.1W) LOW (約0.5W) MID (約2.5W) なし (約5.0W)	SLOはS-LOWを意味する 出力HIGHは表示なし 乾電池使用時 SLO(約0.1W)となる

ID-92 の LCD 画面に GPS による位置情報を表示する

項目	設定手順	備考
GPS の起動	ID-92 に電源を入れて マイクロフオンの上部の GPS スイッチを押す スイッチ部点灯を確認する	
LCD へ位置情報表示①	[MENU/鍵] をチョン押しする スイッチ (2↑)(8↓) を操作して「メッセージ/位置」選択 (英語表示: MESSAGE/POS) 選択したらスイッチ (5←) を押す	DIAL を回しても選択できる
LCD へ位置情報表示②	スイッチ (2↑)(8↓) を操作して「コンパス表示」選択 (英語表示: COMPAS) 選択したらスイッチ (5←) を押す 注: COMPAS でなく POSITION を選択すると 緯度・経度の表示になる	DIAL を回しても選択できる 衛星からのデータを受信して表示が出るまで 3--5分の時間がかかる 表示OKになると マイクロフオンのGPSスイッチ表示灯が点滅する 表示される時間は非常に正確だが 高度 (ELEVAT) はバラツキがある
コンパス画面の「北」の位置	デフォルト(初期設定)のままなら画面の上が「N(北) メチャクチャ操作で上が「S(南)」になっていた場合は 上記①のGPSセットモード「メッセージ/位置」を選択して スイッチ (5←) を押す 次に 「GPSセットモード」を選択しスイッチ (5←) を押す 「コンパスホウコウ」を選択しスイッチ (5←) を押す 「キタ」と「ミナミ」から「キタ」を選択してスイッチ (5←) で 上がN(北)になる	MESSAGE/POS GPS SET MOD COMPAS DIR NORTH または SOUTH